



トウテイラン [洞庭藍]

夏緑／多年草／地被類等／草本植物
／園芸品種



科名 オオバコ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

空に向かって花穂を伸ばし、爽やかな青紫色の花を咲かせる。花穂がいく重にも重なり合う様子が美しい。葉や茎は白い綿毛で覆われ銀白色に見える。和名は花色を中国の洞庭湖の美しい水の色に例えた。近畿から山陰の限られた場所に自生する在来種。絶滅が心配されている。



Memo

ルリトラノオの仲間であざみベロニカとも呼ばれる。単にベロニカと言うとセイヨウトラノオを指す。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花 期								■					
	果 実	(花後、花殻を除去し美観を保つ)												
	紅 葉													
	施 肥				■ (緩効性肥料を少量)									
	剪 定						■							■

好みの環境			
日当り	陽	○ ○	陰
土 壤	乾	○ ○	湿
寒 さ	強	○	弱
暑 さ	強	○	弱
潮 風	強	○	弱

観賞ポイント	姿					
	花					
	葉					
	紅葉					
	黄葉					
	実					
	香					

ポイント

寒さ、乾燥、潮風に強く、過湿と、強い日差しや西日は苦手。暖地では緑陰樹の下などがお薦め。10株ほどまとめると花穂が重なり合い美しい。シルバーリーフの色合いも活かして配植するとよい。

剪 定

5月頃、摘芯をして草丈を低く抑えると脇からも花穂を伸ばしてきれいに咲き揃う。冬に地上部が枯れたら地際より切除すると見栄えがよくなる。肥料は春先に緩効性肥料を少量施す程度でよく育つ。

病虫害

アブラムシ、オンシツコジラミが発生することがある。